

単元名	地域健康プロジェクト ～みんなで 地域を あるき隊～		学年	5 年生
内容	B_地域の創生		総時間数	35
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の願いや取組について知り、これまで学んだ心と体のつながりや心の健康維持についての知識を深め、地域社会や地域の健康の課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるようにする。</li> <li>・地域の課題解決に必要な情報を収集・整理分析しながら、情報を発信することができる。</li> <li>・授業パートナーや地域との関わりをもち、自分や他者のよさを生かしながら散歩マップ作りの活動に主体的に取り組み、よりよい未来を創造しようとする態度を養う。</li> </ul>			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等	
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会長から地域の人々の願いを聞き、これまでの健康学習を生かして自分たちができることについて考える。</li> <li>・大田区健康づくり課に大森地区の現状の課題、地域の散歩マップ作成について話を聞く。</li> <li>・学習計画を考えて、ゴールへの見通しをもつ。</li> </ul>		町会長（4 町会） 大田区健康づくり課	
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトに基づき、課題をよりよく解決する取組について考える。</li> <li>・対象者をそれぞれが選び、地域が健康になる散歩コースを作成する。</li> <li>・町会長と健康づくり課へ散歩コースのプレゼンテーションを行い、フィードバックを受ける。</li> <li>・フィードバックを基に修正を行う。</li> </ul>		町会長（4 町会） 大田区健康づくり課 大田区保健所大森地域健康課	
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えた散歩コースを他者（地域、地域の高齢者、商店街、健康づくり課等）へ伝える方法を考える。</li> <li>・対象者に向けたプレゼンテーション準備を行う。</li> <li>・散歩マップを発信する。</li> <li>・学習したことを価値づけたり、互いの成長を確かめたりする。</li> </ul>		大森町商店街 梅屋敷商店街 大森西児童館 老人ホーム（そんぼの家） 町会長（4 町会）	
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容		授業時数	
国語	書くこと	単元名「目的に応じて引用するとき」 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 情報と情報との関係づけのしかたを理解して使う。	9	
	話すこと・聞くこと	単元名「『子ども未来科』で何をする」 資料を示しながら、説得力のある提案をする。		
	書くこと	単元名「文章に説得力をもたせるには」 説得力のある意見文の構成を考える。		
算数	データの活用	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目して、その結論について多面的にとらえ、考察する。	5	
理科	生命・地球_第5学年	「理科とSDGs」 持続可能な社会のために、自分ができることを考えたり取り組んだりする。	3	
	物質・エネルギー_第5学年	「理科とプログラミング」 プログラミング的思考の考え方を活動に取り入れる。		
体育		単元名「体づくり運動の体ほぐしの運動」 運動をすると心が軽くなったり、体の力を抜くとリラックスできたり、体の動かし方によって気持ちも異なることなど、心と体に関係し合っていることに気付く。	3	
	保健	単元名「心の発達」 心と体に関係しており、心と体が互いに影響することを理解する。		
総合	地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。		15	